

**福島県私立幼稚園・認定こども園
PTA連合会だより**

第10号
発行日 平成30年3月1日
発行 福島県私立幼稚園・
認定こども園PTA連合会
事務局 〒960-8103
福島市舟場町2-1
福島県庁舟場町分館
TEL 024-522-3252
FAX 024-521-4463

理事長あいさつ



福島県私立幼稚園・認定こども園
PTA連合会

理事長 西山尚利

東日本大震災と
原発事故から七年。
この一年も、幼稚園・認定こども園では、子どもの教育に愛情と情熱と使命感をいただき、心から感謝申し上げます。おかげさまで、子どもの大きな声が響くようになり、明るさいっぱいの笑顔が輝き、保護者に安心が広がつてまいりました。ありがとうございました。

県知事等表敬訪問に参加して

学校法人福島愛隣幼稚園父母の会
会長 阿部深雪

平成三十年二月十四日、福島県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会を代表しまして、日頃より私学振興にご尽力をいただいております内堀雅雄県知事、吉田栄光県議会議長をはじめ県議会議員の皆様に感謝の気持ちを込めてバレンタインチョコレートと子ども達が制作した似顔絵をお渡ししてまいりました。

今年は、園児も一緒に参加し少し緊張でしたが、内堀県知事

から優しく声をかけていただき、笑顔が溢れる中「子ども達のためにもこれからも頑張っていきます。」と力強いお言葉を頂戴し大変うれしく思いました。

東日本大震災から七年の月日が流れました。当時、妊娠九ヶ月でお腹にいた我が子もこの春小学校へ入学します。未来を担う子ども達がこれからも「安心安全に暮らせるよう、福島育ちである事に誇りをもてるよう福島の明るい未来が開かれるよう」願い、親子一緒に成長していくたいと考えています。

最後に、内堀県知事、県議会議員の皆様にはお忙しい公務の中このよう貴重なお時間をいただきまして、心より感謝申し上げます。



とうございます。

さて、これまで県が進めてきた復興が「形」になつてまいりました。まず、一昨年十二月には県立医科大学にこども病院がオープンし、子どもと県民の健康を医大を中心になって守りながら、日本一の健康長寿県を目指し「健康県民運動」を展開しています。また、昨年三月には東京オリンピック「野球・ソフトボール」の県営あづま球場での開催が決まり、本県産農産物を食べてオリンピック選手に金メダルを獲つてもらいました。

うために、GAPという世界認証を持つ農業生産者数日本一に挑戦しています。また、この春には南相馬市に世界最先端ロボットの開発研究拠点が設置・稼動し、二〇二〇年にはロボット世界選手権が開催されます。

今、本県にとつて一番大切なものは、それは「未来を担っていく子どもたちの教育」です。「学力」「体力」「道徳力」のある子どもの育成です。そのため私たち保護者は、大人がこの社会を作つているという自覚と意識を持つて、子どもたちにとつて豊かな環境とは何かを真剣に考え、差がなく質の高い幼児教育を受けられるよう、今年も一年、心を合わせて行動してまいります。

そして来年四月には福島大学に農学部が開設され、農業後継者を育成。同じく来年四月には、サッカー日本代表の合宿地である檜葉町のJヴィラを盛り上げ、子どもの夢を大きく育んでいきます。

今、本県にとつて一番大切なものは、それは「未来を担っていく子どもたちの教育」です。「学力」「体力」「道徳力」のある子どもの育成です。そのため私たち保護者は、大人がこの社会を作つているという自覚と意識を持つて、子どもたちにとつて豊かな環境とは何かを真剣に考え、差がなく質の高い幼児教育を受けられるよう、今年も一年、心を合わせて行動してまいります。



方部だより

季節は歌から

県北方部

さくら幼稚園父母の会

会長 菊地 奈津美

七月に開催された県北方部PTA研修会は「幼児期に体験してほしい音楽活動」と題して、「題名のない音楽会」や「世界一受けたい授業」などに出演なさいでいる音楽家の青島広志さんと、テノール歌手の小野勉さんをお招きして行われました。「季節は歌から」というテーマに話題を織り交ぜながら、「○○なのですねえ」「なのでわたくしは困つ

てしまふのです」と味のある言い回しと絶妙なトークで毎月に童謡の音楽史や作詞、作曲者のことなどを教えてもらい、その合間合間にピアノ伴奏に合わせて小野さんと一緒に歌いました。最後は、となりのトトロの「さんぽ」を歌いながらダンス：とても笑いの多い講演でした。

人間の生活に芸術は不可欠ではなけれど、身近にあつた方が人生を豊かに過ごすことができる。物心ついた頃から是非音楽を感じてほしい。家に帰り、早速教えていただいた「たなばたさま」を子どもと歌いました。

どうぞ、それぞれのご家庭でも、音楽を取り入れてみてください。

「たなばたさま」を子どもと歌いました。

最初、バディという名前の犬一頭で始まつた学校犬は、二〇〇九年にバディの子供リンクが、二〇一二年からは東日本大震災後、福島県の動物シェルターから引き取つた被災犬二頭、ウイルとブレスが加わりました。学校犬は飼育する動物と違い、一日中教室で生徒たちとともに過ごし、同じ仲間としてともに喜び、

犬は感情の表現力が高く、子供たちの良い仲間となることのできる動物だからです。

最初、バディという名前の犬一頭で始まつた学校犬は、二〇〇九年にバディの子供リンクが、二〇一二年からは東日本大震災後、福島県の動物シェルターから引き取つた被災犬二頭、ウイルとブレスが加わりました。学校犬は飼育する動物と違い、一日中教室で生徒たちとともに喜び、同じ仲間としてともに喜び、

東日本大震災が起きた平成二十三年に誕生した園児たちが、今年三月には卒園を迎え、新一年生として新

たな一步を踏み出します。

当県南方部も除染が進み、震災前と変わらない状況になつてきており、震災直後は子どもたちの外で遊ぶ姿がみられず静まりかえっていた園庭も、現在では園児たちの大きな

声が聞こえています。

そのような中、認定こども園ばかりでは、園児たちに様々な体験をさせ、自分で考え、自分で行動できるようにと、園外活動を多く取り入れた保育教育を実施しています。

主な園外活動

・田植え、稲刈り体験：直に土に触

れ、肌で感じる体験

・ジャガイモ掘り、ブルーベリー収穫体験：自分で収穫する楽しさを

ができたと強く感じております。

私たちが震災時感じた他者への思

いやりや、他者の命への思いと絆を

この講演を通して再び思い出すこと

ができたと強く感じております。

吉田先生は二〇〇三年に日本で初め

めて犬を用いて動物介在教育（学校犬

教育）が教えてくれたこと」とい

う演題でご講演いただきました。

吉田先生は二〇〇三年に日本で初

めで犬を用いて動物介在教育（学校犬

PTA連合会だより



・雪遊び体験：ソリすべり体験
・公園でのごみ拾い・草むしり…ボランティア活動
・介護施設訪問：お年寄りとの触れ合い
・料理教室：作る楽しさ体験 等
また、福島県の子どもたちの体力は全国平均を下回っている状況の中、園児たちの健康と体力向上を目的として、大型遊具の設置、水泳教室、体操教室、マラソン、リトミック等を取り入れ、園児たちが楽しく運動できる機会を数多く行っています。

（一部・振興大会／講演会）
要望書提出（五月）、市外幼稚園の視察見学等を実施、そして振興大会を開催し、多数の保護者の皆様に参加



会津方部

会津方部における活動紹介
ザベリオこども園PTA

矢沢拓哉

いわき方部の活動について

神谷幼稚園

副園長 佐藤智彦

いわき方部

会津若松市幼児教育振興協会・保護者連絡協議会では、毎年振興大会を開催しております。大会に先立ち、会津若松市長宛の要望書提出（五月）、市外幼稚園の視察見学等を実施、そして振興大会（一部・振興大会／講演会）を開催します。

今年度、いわき方部では十一月に第三十一回いわき市私立幼稚園PTA連合大会がいわき市文化センターにて開催されました。大会は二部制で行われ、一部では

いただきました。

一部では会津若松市長から祝辞をいただき、市こども保育課長より「子ども子育て支援新制度の現状と課題」について講話いただきました。

二部では『二十一世紀の子育て』と題して、元埼玉県教育委員長の松居和先生をお招きし、「子育てには正解はない」「各々の家庭により違

いがあって当たり前」「親子ともに苦労する」ことなど、実例やこれまでの経験を交えて講演いただきました。松居先生からの充実した内容のお話に全員が聞き入りながら、「もう終わりですか?」「もっと話を聞いていいたい」との声も多数あり、好評のうちに終了いたしました。

振興協会・保護者連絡協議会を中心として、行政側との連携、各こども園や保護者の皆様、関係者との協力により、子どもたちが充実した生活を送れるよう、引き続き取り組んでまいります。

いわき方部の活動について

相双方部

相双方部私立幼稚園PTA連合会

会長 高橋昇（原釜幼稚園）



今年度、いわき方部では八月七日にPTA・教員合同研修会を開催しました。

今年度の相双方部の活動は、八月

後には、良い姿勢が自然にとれる

トレッチやエクササイズなど、実技

を交えながら教えていただきました。

聴講された保護者の方々もそのエクササイズに挑戦する時間もあり、自分

の姿勢も見直しながらの有意義な研修となりました。



今回は、「子どもたちの姿勢」をテーマに、接骨院を開業している齊藤重宗先生をお招きし、ご講演いただきました。現代はスマートフォンなどの普及に伴い、子どもたちの姿勢が悪くなる傾向にあるということで、姿勢の悪さが学習や運動能力などの成長に与える影響についてお話をくださいました。



第四十三回 私学振興大会について

福島県私立幼稚園・認定こども園
PTA連合会

副理事長 伊藤順朗

今年度で四十三回目を迎えた私学
振興大会。

県内の私立幼稚園・認定こども園
園・小中高校・専修各種学校に係わ
る子どもたち・保護者・先生・設置
者の皆さん、国・県・郷土を支え
ていける人材の育成に対する思いを、
知事はじめ県政に伝える大事な場と
して、長く続けてこられたことは、
とても有難いことだと思います。

正しい教育による地域の発展は、
これまでの歴史の中でも、常に困難
を伴いながら、日本を支える事業の
一つだったことと思います。

時代によつて、また、様々な自然
の驚異によつて「正しい」の価値觀
は変化していきましたが、私たち子
どもに係わる者が願つてきたことは、
どの時代も変わらずに続いてきたは
ずです。

健康で他のために成せるものに成長
することが、教育を受けさせてい
だく中で、一番の目標になるのでは
ないでしようか。智慧が無ければ、
健康も他を支える力も維持でき
ないでしよう。

私学の学び舎
では、それぞれ
の地域の特色に
合わせた建学の
精神があり、心の教育を元とした視
野の広い学びがあります。
人として生きる智慧「大和魂」を
持つた人材の育成により、これから
の東北の復興が加速していくよう
願つて止みません。



第三十二回 全日本私立幼稚園 PTA連合会全国大会

認定こども園若松第一幼稚園父母
と教師の会
会長 大竹恒雄

九月二十五日、午後一時から東
京・ホテルニューオータニにおいて
「次代（あす）」を担う子どものため
に「児童教育の振興に向けて」を
テーマにPTA全国大会が開催され
ました。会場には一、二〇〇人以上
の保護者と園の関係者が集まり、約
一〇〇名の国会議員の方々や文部科
学省代表などの来賓をお招きし、盛
大な大会となりました。

平成三十年度政府予算 対策要望活動について

PTA連合会
副理事長 寿上祐光

平成二十九年十二月一日、東京永
田町の自由民主党本部において、平
成三十年度政府予算対策要望活動が
行われました。当日は、自由民主党
総務会長の竹下亘議員、県選出国会
議員六名、県議会議員、各種団体代
表が参加いたしました。県私立幼稚
園・認定こども園連合会からは、平
栗裕治理事長、事務局長、県私立幼
稚園・認定こども園PTA連合会か
らは寿上祐光副理事長が参加いたし
ました。

まず始めに、竹下総務会長、県選
出国会議員の皆様に、私立幼稚園・
認定こども園として、次の四項目に
ついて要望をいたしました。

- 一、私立高等学校等経常費助成費補
助金（幼稚園分）の拡充
- 二、被災私立高等学校等教育環境整
備支援臨時特例交付金の継続
- 三、児童教育の無償化
- 四、幼稚園教諭の待遇改善に向けた
助成充実

以上の要望に対し、各国会議員の
皆様は、熱心に聞いてくださいまし
た。

次に、文部科学省に移動し、森まさ
子議員にご案内いただき、副大臣
室にて丹羽秀樹文部科学副大臣にお
会いし、先ほどの四項目について要
望をお伝えさせていただきました。

今回の政府予算対策要望活動を通
じて、福島県の抱える他県とは違う
問題、その問題の解決に近づけるよ
うな要望に対し、各議員の皆様が
熱心に聞いていただけたことが印象
的でした。

今後も、子どもたちに明るい未来が開
かれ、親・子が一緒に成長できるため
に、政府に対しても要望を提示していくこ
とが必要だと感じました。

